



畜産研通信

令和7年度第3号



～今号の内容～

- ・研究所トピック
- ・お知らせ

研究所トピック

【飛騨牛研究部】

飛騨牛ブランドの強化を図るには、特徴形質「肉色」「モモの肉質」「サシの形状」「脂質の良さ」の一層の強化が必要です。

「飛騨牛改良推進事業専門委員会」では、特徴形質(特に「脂質」)に優れた藤良系種雄牛として、「月桂樹」「花鶴美」「福花清」の3頭を新たに待機種雄牛に選定しました。このうち「花鶴美」と「福花清」は畜産研究所で出生した牛ですので、簡単にご紹介します。

「花鶴美」(旧名:花福704の2)は皮下脂肪が薄く脂質に優れる「たか586の13」に「花福桜」を交配し造成しました。後躯、骨味、資質に優れ、脂質およびサシの形状のゲノム育種価が良好で、安福系繁殖雌牛への交配相手として利用が期待されます。

「福花清」(旧名:福平684の5)は体型、資質、脂質に優れる「はなふ658の1」に「福平国」を交配し造成しました。後躯、肢蹄、資質に優れ、脂質のゲノム育種価は県有種雄牛トップレベルであり、当該牛も安福系繁殖雌牛への交配相手として利用が期待されます。

花鶴美



(血統 花福桜-孝隆平-光平福)

先行交配期間:令和7年11月15日～令和8年1月14日

福花清



(血統 福平国-花福桜-花清国)

先行交配期間:令和8年1月15日～令和8年3月14日

【酪農研究部】「生活協同組合コープぎふ職員の方を対象に酪農研修を行いました」

令和7年11月14日(金)と11月21日(金)の2日間、生活協同組合コープぎふの1年次職員の方を対象に酪農研修を行いました。この研修はコープぎふが誕生するきっかけとなった大切な商品である「せいきょう牛乳」について生産者の想いを学ぶものになります。「せいきょう牛乳」は県内の酪農家が大切に育てた乳牛から生産されていることから、昨年度に引き続き、当部での研修を希望されました。

当日は乳牛とふれあいながら作業を体験していただきました。職員の方は大変熱心に作業に取り組まれていました。体験は一部でしたが酪農業および牛乳として消費者に届くまでの過程を少しでも学んでいただけたと思います。県内酪農家がこだわって丁寧に生産している牛乳ですので、組合員の方にしっかりPRしてください！そしてたくさん飲んでいただき、岐阜県の酪農家を応援してください！



搾乳作業の見学



乳牛に給餌



子牛に哺乳

【養豚・養鶏研究部】「新設豚舎による種豚「ボーノブラウン」の増頭と今後の改良について」

当研究部では、平成 30 年 12 月に豚熱により失われた種豚「ボーノブラウン」を「種豚再造成事業（令和元年から令和 6 年度）」により種雄豚5頭、種雌豚5頭および子豚40頭の約50頭規模まで再造造成しました。

令和7年度からは、新たに建設された豚舎において「ボーノブラウン改良推進事業」により種豚を増頭しながら、効率的な育種改良（抗病性遺伝子マーカーとゲノム育種価）に着手しています。

現在、生産計画どおりに新設豚舎において5月中旬から分娩が開始され、約220頭（11月上旬現在）まで増頭しました。最終的には約1,000頭規模まで増頭し、前述した手法により高い能力をもつ個体を選抜し、当部で維持するとともに、県内養豚農家の皆様へ生体種豚もしくは人工授精用精液により供給します。



新設豚舎で生まれた産子と母豚

お知らせ

【飛騨牛研究部】令和7年度第2回現場後代検定枝肉研究会の開催について

今年度の種雄牛候補牛の産肉能力検定に係る枝肉研究会を次のとおり開催します。

種雄牛：正光春（まさみつはる）<血統：花清光-飛騨白真弓-白清85の3>

日 時：令和8年1月26日（月）（枝肉参観） 9:30～10:45
(枝肉研究会) 11:00～12:00

場 所：飛騨ミート農業協同組合連合会（枝肉参観）食肉センター（枝肉研究会）飛騨牛会館

岐阜県畜産研究所

ホームページ <http://www.livestock.rd.pref.gifu.lg.jp>

□ 飛騨牛研究部

〒506-0101 高山市清見町牧ヶ洞 4393-1 Tel:0577-68-2226 Fax:0577-68-2227

□ 酪農研究部

〒509-7601 恵那市山岡町久保原 1975-615 Tel:0573-56-2769 Fax:0573-56-2974

□ 養豚・養鶏研究部

〒501-3924 関市迫間 2672-1 Tel:0575-22-3165 Fax:0575-22-3164